

産業能率大学 経営学部

工業簿記	履修年次	2	
	単位	2	
矢島 正	配当期	前	
	授業方法	講義/ オンデマンド	
授業の内容			
<p>[授業の概要]</p> <p>簿記科目は資格取得支援科目であり、前期に「簿記応用」、「工業簿記」を、後期に「日商簿記検定 2 級対策講座」を配当し、3 科目を履修することで 11 月に実施される日商簿記検定試験 2 級の合格を目指すための前提科目である。</p> <p>取り上げるテーマは、費目別計算、総合原価計算、部門別計算、個別原価計算、工業簿記における財務諸表、本社工場会計、標準原価計算など、広範にわたる。</p> <p>授業の方針は、説明は簡潔にする一方、問題演習に重点を置いて理解の程度を確かめながら進めていく。「日商簿記検定 3 級」に比べると格段に高度で複雑な計算をしなければならないので、自主的に問題に取り組む姿勢が必要となる。したがって毎回の講義における練習問題はもとより、事前・事後に提示された課題は着実に実行していかなければならない。</p>			
この科目の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・中小製造業における簿記処理の知識・技術を身につけ、中小製造業の現場における会計処理ができる。 ・製造業における原価計算の初歩的な力が身につき、自ら調べて計算処理を試みるようになる。 ・日商簿記検定 2 級の問題を解く基礎力ができる。 			
成績評価の方法			
授業出席、授業外学習、課題提出および定期試験により、総合的に評価する。			
週	授業項目	週	授業項目
1	ガイダンス工業簿記とは何か、工業簿記の全体を知る	8	総合原価計算(仕損・減損など)について学習する
2	材料費の分類、材料の購入・消費の処理方法を学習する	9	工業簿記における財務諸表と本社工場会計について学習する
3	材料の購入・消費の処理方法(予定消費単価を用いる場合)などについて学習する	10	標準原価計算とは何かを知り、差異分析の仕方を学ぶ
4	労務費・経費とは何かを知り、計算方法などを学習する	11	標準原価計算の差異の勘定処理と活用方法を学ぶ
5	個別原価計算と部門別個別原価計算とは何かを知り、計算方法を学習する	12	標準原価計算の勘定記入について学ぶ
6	総合原価計算(単純総合原価計算)について学習する	13	直接原価計算とは何かを知り、利用方法を学ぶ
7	総合原価計算(工程別総合原価計算など)について学習する	14	直接原価計算の応用と財務諸表の関係を学ぶ